

反対は日本共産党のみ

公民館等の有料化・値上げを議会が可決

学童保育料の大幅・便乗値上げも



9月23日（金）江南市議会9月定例会が閉会しました。9月議会に提案されていた公民館や学供、パークゴルフ場などの有料化・値上げと住民票交付などの各種手数料の値上げ（1.5倍化）、学童保育料の値上げなどの条例改定案は、日本共産党議員団3人が反対したのみで、他党派議員が全員賛成しすべて原案通りに可決成立しました。

施設使用料の有料化・値上げについては、6月に17団体・サークルや市民の方々から1702筆の署名を添え、中止を求める要望書が市長に提出され、パブリックコメントにもかかってないほど多数の意見が寄せられていました。

日本共産党議員団は議案質疑や委員会質疑、反対討論などで、高齢者の社会参加と交流、健康づくりに冷水を浴びせ、利用者の減少と医療費、介護費の増加を招くとして、様々な観点から有料化・値上げの中止を求めて奮闘しました。



ボランティア団体も減免一切なし

有料化・値上げ案は、ボランティア団体やNPO、町内会、スポーツなどに対しても一切減免制度を設けない機械的なもの。2時間単位の使用区分では実態に合わず、負担がさらに増え、市民活動を著しく停滞させるおそれがあります。

市当局は有料化・値上げで、年間645万円の収入増を見込むと答弁しましたが、施設利用者が減少する可能性を何ら計算に入れていません。

市議会にタブレット導入を検討中

効率的で迅速な議会運営、議会の活性化など、さらなる議会改革をめざす手段の一つとして、タブレットを活用したペーパーレス会議システムや情報発信の強化を検討するICT推進検討委員会が7月に発足。来年度導入をめざすべく、検討と研修が行われています。ICT推進検討委員会のメンバーは、市議会議員7名（各党派から1～2名）、市職員4名（議会事務局2名、総務課2名）。

これまでに、「ペーパーレス会議システムの概要説明と実機体験」の研修会を実施。8月には、議会、市ともにタブレットを導入している三重県尾鷲市議会を検討委員会で視察。ペーパーレス会議システム3社のプレゼンテーションを実施。各議員のICT環境調査も実施しました。

全国各地の議会でも、ペーパーレス会議が少しずつ広がっています。しかし導入したものの、十分に活用できていない議会もあるのが実情とか。議員活動の質の向上が伴わなければ意味がありません。また、ICT機器に手慣れた議員と不得手の議員の格差の問題も。タブレット通信費に公費を投入する是非もしっかりと検討しなければなりません。

市民参加条例違反！の学童保育料値上げ手続きふまず、突如、議案を提出

さらにひどいのは学童保育料の大幅な値上げです。

現在の月額2500円を段階的に4000円（8月は夏季加算で6000円）にも値上げし、働く子育て世代に負担増を強いるにもかかわらず、江南市市民参加条例が規定している市民参加の手続き（パブリックコメントや市民アンケート、審議会等）を何も踏まない突如の値上げ議案の提出でした。使用料・手数料改定に便乗した条例違反のやり方は、許されるものではありません。

さらに、市内10か所の学童保育所の中には、施設整備の遅れから過密状態で待機児童が発生。本来の面積基準を守れていない所や、小学校4年までの対象学年の拡大すら目途がたたないところ（古南・布袋校区）もあります。

大幅な値上げにもかかわらず、母子世帯や多子世帯への減免制度も近隣市町に比べて不十分。到底、値上げを容認できる状況ではありません。子育て支援にまるで逆行する学童保育料の値上げを、無修正で可決した市議会の責任が問われます。

北朝鮮の核実験に抗議の決議

江南市議会は9月12日、北朝鮮による核実験の強行に抗議する決議を全会一致で可決し、国連を通して北朝鮮に提出しました。決議は日本共産党議員団から提案し、各党派に働きかけて実現したものです。

政務活動費受給は適正か

富山市議会でも明るみに出た政務活動費の不正受給で、自民、民進党会派の議員が9人も議員辞職に追い込まれました。富山県議会でも不正受給が発覚しています。

江南市議会の政務活動費の受給は大丈夫でしょうか。江南市議会議員の政務活動費は、1人年間15万円。党派ごとに支給されています。領収書を添付した収支報告書が議長に提出され、

残余が生じた場合は、市へ返還することになっています。

領収書は議会HPで公開していませんが、党派ごと、年度ごとの簡単な収支報告書は公開しています。市民がいつでも簡単に各議員の活動を監視できるように、領収書や、視察研修報告書も議会HPで積極的に公開していきたいものです。

